



「「NEDO懸賞金活用型プログラム／ 量子コンピュータを用いた社会問題ソリューション開発2」事業の 企画運営に関する調査」に関するご説明

2026年1月29日

AI・ロボット部 量子ユニット 岸本・福島

本日の内容

- 用語について
- 量子懸賞金事業全体のコンセプトとスケジュール
- 量子懸賞金2026における実施内容とスケジュール
- 応募における注意点

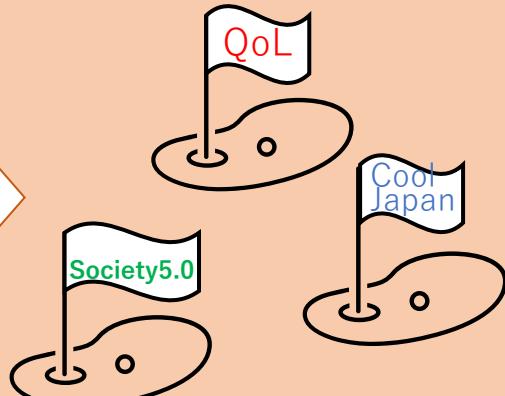
- ・「NEDO懸賞金活用型プログラム／量子コンピュータを用いた社会問題ソリューション開発」→本事業においては「2」を末尾に付している
 - ・2024～2026年度の事業の正式名称。現在進行中。
 - ・助走期間からコンテスト終了後の事業化支援までの事業全体を示す。
- ・NEDO Challenge, Quantum Computing “Solve Social Issues!”→本事業においては未決定ですが、踏襲を予定(2や2026を付すかは要検討)
 - ・上記事業において開催しているコンテスト名。
 - ・懸賞広告の公開から受賞者の決定・公開まで(もしくは表彰式まで)の一連の活動を示す対外的な名称。
- ・量子懸賞金2025→本事業においては量子懸賞金2026
 - ・非公式に略称として使用。
 - ・2025年に懸賞広告公開したことから2025としている。
 - ・事業のことを指すことも、コンテストのことを指すこともある
 - ・本資料中においてはさらに略して「2025」、「2026」としている部分もある

量子懸賞金のコンセプトについて

課題提案者



課題
提案



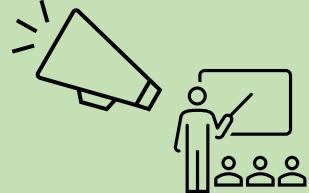
専門家の手によって
課題として最終化

量子コンピュータで解けるかどうかはわからないが解けたら凄い、という社会課題を提示する

FTQC
アルゴリズム等

優勝

コンテスト参加者



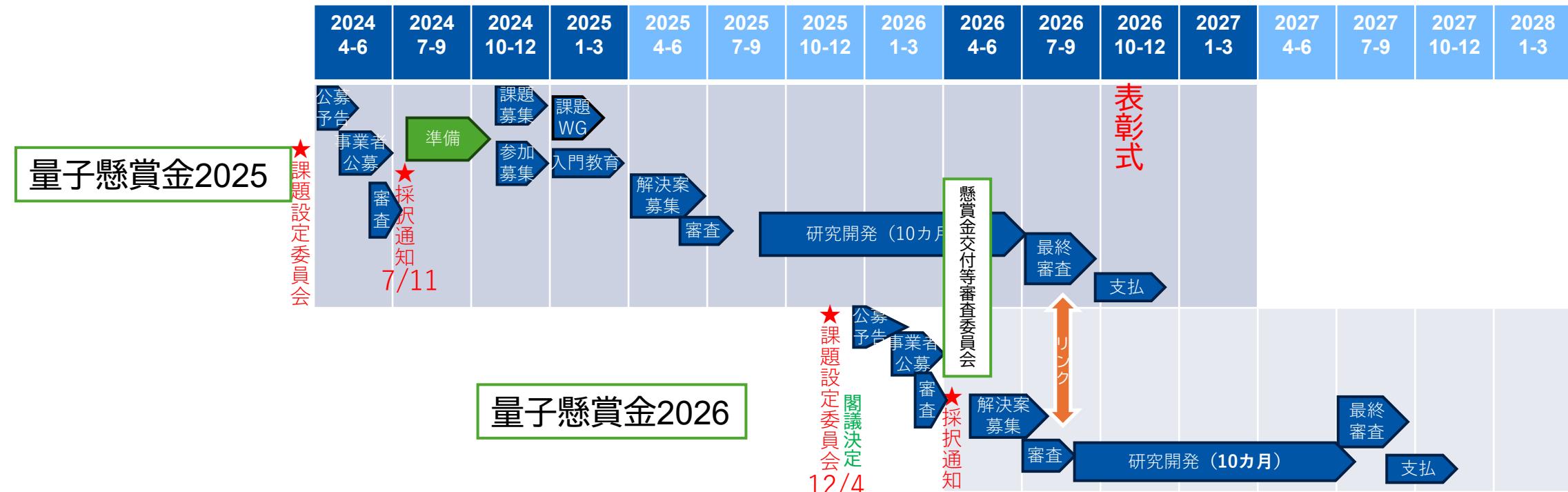
無償提供
計算環境

メンタリング等

現状のマシンスペックに囚われることなく、
将来可能になるマシンでの社会課題解決を目指して**大胆な発想**で懸賞課題に取り組む

課題ホルダーと量子技術者の共創を目指す

全体スケジュール



コンセプトは大きく変えず、

- 毎年できる限り同じ時期に研究開発を実施できるように(参加者の予測可能性を高める)
- 課題は量子懸賞金2025の課題を継承し、2026の中でさらに発展させる(課題は通年募集)
- 課題領域の組み換え・新設なども調査の中で検討
- 量子懸賞金2025での環境利用者が提出した成果物を元に2026でも環境を使えるようにするスキームを検討したい
 - 2025の研究開発できちんと成果を出している
 - 2026でも継続する価値・意義がある

量子懸賞金2026の全体像について

- 量子懸賞金2025(第1回)と同様の部分
 - 課題は広く社会から公募する(2025の課題は継承し、通年募集を通じて追加・深化させる)
 - 研究開発環境を提供する(同様の日程にすることで予測可能性を高める)
 - 共同研究や事業化への道筋をサポートする
- 量子懸賞金2025と異なる部分
 - 基礎的な教育は実施しない(P5G産業化人材育成事業への誘導)
 - 量子懸賞金2027を実施する前提で枠組みを整備する(民間の活用)
 - 領域の変更・組み換えを検討する
- 量子懸賞金2025と相乗効果を期待する部分
 - 2025の成果提出者のうち、今後の研究開発継続が望ましいと思われる成果を提出した者には2026の研究開発環境をシームレスに提供する
 - 2025の成果をアピールすることで、海外からの共同研究を呼び込む

本事業の概要と公募

・調査の目的

- 将来利用可能になる次世代型の量子コンピュータのハードウェアを仮想的に想定し、そのプラットフォーム上で動作するアプリケーションを開発することを通じて、将来の社会課題解決を目指す。本課題の解決に資する多様なシーズ・解決策を多く募るとともに、そのような量子コンピュータを用いたソリューションを開発できる量子人材の発掘を目的として本プログラムを実施する。
- 本事業では課題に関する調査を実施し、コンテスト等の企画運営を実施する。

・事業期間:2026年度～2027年度(NEDOが指定する日から2028年3月31日まで)

・事業規模

- 懸賞金総額:2億円程度(予算額は変動する可能性がある)
- 事業予算額:2.8億円以内の委託(懸賞金を含まない、予算額は変動する可能性がある)

・公募期間:2026年1月23日(金)～2月24日(火)正午締切

・詳細は公募要領・仕様書をご参照ください

量子コンピュータ環境は別途事業を計画中であり、本事業においては量子懸賞金2026の参加者の利用をサポートするための内容をご用意いただくこととなります

提出期限および提出先

本公募要領に従って「提案書」を作成し、その他提出書類とともに以下の提出期限までにアップロードを完了させてください。なお、持参、郵送、FAX又は電子メールによる提出は受け付けません。必要なすべての書類をPDFにし、1つのZipファイルにまとめてアップロードしてください（パスワード禁止）。提案書はヒアリング審査準備の便宜上、横長の形式（パワポを含む）でご用意いただいても結構です。

1. 提出期限：2026年2月24日（火）正午アップロード完了
2. 提出先：Jグランツ

<https://www.jgrants-portal.go.jp/subsidy/a0WJ200000CDWaMMAX?wfid=a0XJ2000006cMB9MAM>

※ 応募状況等により、公募期間を延長する場合があります。
公募期間を延長する場合は、NEDOウェブサイトでお知らせいたします。

審査方法・基準、スケジュール

【審査方法】

外部有識者による**「採択審査委員会」**とNEDO内の**「契約・交付審査委員会」**の二段階で審査します。契約・交付審査委員会では、採択審査委員会の結果を踏まえ、NEDOが定める基準等に基づき、最終的に実施者を決定します。必要に応じて**ヒアリング審査**（3/12-24を予定、日時はNEDO指定）や資料の追加等をお願いする場合があります。なお、委託先の選定は非公開で行われ、審査の経過等、審査に関する問い合わせには応じられませんのであらかじめ御了承ください。

【審査基準】

「採択審査委員会」および「契約・助成審査委員会」の審査基準につきましては、公募要領をご確認ください。

【スケジュール】

- 公募締切：2026年2月24日（火）正午
- 採択審査委員会：2026年3月中旬（予定）
- 契約・交付審査委員会：2026年3月下旬（予定）
- 委託先決定：2026年4月上旬（予定）

本事業の契約におきましては、「調査委託契約標準契約書」を使用します。
以下のサイトよりダウンロードしてください。

https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/2025_3yakkan_chousa.html

お問い合わせ

本公募に関するお問い合わせは、以下のE-mailにて受付けます。

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
AI・ロボット部 岸本、福島、加藤
E-mail : quantum_contest@ml.nedo.go.jp

審査の経過等に関するお問い合わせには応じられません。
お問い合わせ頂いた内容で、応募検討者全員に公開すべきと判断される情報につきましては、
NEDOホームページの公募情報のページに掲載致します



ニュースリリースや公募、イベント情報等、様々な最新情報を発信しています。
ぜひフォロー・ご登録をお願いします！



NEDO
(@nedo_info)



NEDO【英語版】
(@nedo_info_en)



NEDO



スタートアップクラブ



NEDO Channel



NEDO PR Channel



Q:提案資料の枚数制限はありますか？

A:枚数の制限はありません。ただし、審査の効率を考慮し、要点を絞った資料をご用意いただけますと幸いです。

Q:フォーマットの指定はありますか？

A:公募ページのWordテンプレートを用意してありますが、記載された項目を網羅していただければppt等でも大丈夫です。

Q:2.8億円の予算について、NEDOで想定している割振りを、概算でよいので教えてください。

A:現在開催中の量子懸賞金2025や、量子コンピュータを用いたユースケース開発の現状を踏まえて、各社で独自のご提案を期待しております。そのため、回答は控えさせてください。

Q:NEDOの懸賞金事業の場合、懸賞広告案が別途提供されることが多いのですが、本件においては、2026の懸賞広告案はないという感じでしょうか。

A:懸賞広告(案)は用意していません。今回は、運営事業者を選定してから、第一回懸賞金交付等審査委員会までの期間、懸賞広告を発表するまでの期間が短いため、これらはNEDO内で準備する想定です